

知能情報学部 新6コース誕生



テクノロジーは進化する。
学びはもっと進化する。

就職率[※]
100%
2019年3月卒業生



※「就職率」は就職希望者に占める就職者の割合を指し、就職者数を就職希望者で除したものとします。

次世代で必要とされる“分野横断型 情報科学ゼネラリスト”を養成する 知能情報学部の新6コース

AI、ビッグデータ、VR…。あなたの身の周りで情報技術は加速度的に進化しています。

そのような時代に社会が求める人材。それは幅広い視野を持ち、

分野を超えた知識の掛け合わせで新たな未来を拓く“情報科学のゼネラリスト”。

知能情報学部に誕生した新たな6コースは「掛け合わせの力」で無限大の可能性を生み出します。



知能ロボットコース

センサー技術や制御技術及びロボット工学を学び、生活に溶け込み人の役に立つロボットなどの開発を目指します。



AIデータサイエンスコース

ディープラーニングや機械学習について学び、ビッグデータの分析技術や活用方法を身につけ、AIアプリなどの開発を目指します。



クラウドシステムコース

インターネットシステムに関する理解を深め、ソフトウェア開発や、安全なネットワーク環境の実現を目指します。



メディアデザインコース

映像情報や音情報などの表現や設計方法を学び、五感に働きかける情報メディアの直感的な表現技術などを開発します。



ヒューマンセンシングコース

人間の行動特性や情報の伝達方法を学び、人間とコンピュータや機械との関係をより良くする方法の開発を目指します。



数理情報コース

数学を基礎に、数理論理能力と情報技術を身につけます。教職科目を履修し、数学教員免許を取得することも可能です。

コースは入学後の履修モデルであり、
コースを横断しての自由な学びが可能です。

TOPICS 1

漫才ロボット

関連コース ● AIデータサイエンス ● 知能ロボット ● メディアデザイン

お題を与えると、AIによって自動的に漫才台本を作り出し、漫才を演じるロボットコンビ。関西弁の合成音声でしゃべります。ノリツコミ、なぞかけなどのテクニックで笑いを誘い、さまざまなイベントを盛り上げています。



TOPICS 2

ユーザーの感情推定

関連コース ● AIデータサイエンス ● ヒューマンセンシング

可視光カメラのみを用いて、表情や視線など人間が自然表出するデータをもとに、感情を推定。興味や関心、焦りやストレスなどの人の潜在的で、対話型システムの利用シーンで必要となる感情を機械学習などにより推定します。

